

鑑賞のための語彙

鑑賞文などを書くためには、できるだけたくさんの説明のための言葉を知っておく必要があります。

- ・ものの見方や考え方、表現の特徴などを評価する言葉の例
  - 主観的、客観的、楽観的、悲観的、特殊、型破り、情熱的、積極的、新鮮、雄大、素朴、など
- ・感想を表現する言葉の例
  - 魅力的、興奮、共感、希望、など
  - 感動、興奮、共感、希望、など
  - ・感嘆、悲しい、楽しい、つらい、切ない、心ひかれる、

身に付けると...

自分の感想や考えを、より具体的に書くことができます。

やってみよう 「文例と解説」

〔文例〕  
 一句(初句)「古池や」は切れ字「や」を用いて初句切れになっており、感動の中心が古びた池の静かなたたずまいであるのが分かる。作者は人の住まない荒れた庭に立って、池を感慨深く眺めている。そんなときチャポンとかすかな音が響く。蛙が池に飛び込んだのだ。なんて静かなのだろう。体言止めで残された余韻に、作者のしみじみとした気持ちが入められているようだ。かすかな音が聞こえることで静かさを表現しているところに作者独特のものが見方が表れている。

ワンポイントアドバイス

俳句にはいろいろな決まり事があります。それぞれの決まり事に当てはめて分析すると俳句が読み味わえます。

観点	俳句	例
季語(季節)	蛙	古池や 蛙飛び込む水の音
切れ字(句切れ)	や	(初句切れ)
表現技法	体言止め	
表現の効果	かすかな音が聞こえることで静かさを表現	
見える景色	人の手の入らない荒れた庭の古い池	
感動の中心	古池(具体物)	
刺激される感覚	視覚・聴覚	

〔解説〕  
 線部の俳句の大意や、線部の表現の特徴とそれから受ける感じを説明しながら、(網掛け)部の自分の感想を書いています。で囲んだ部分の作者のものの見方については、聞こえる音で静かさを表現するのが独特としています。書く内容が多い場合には、内容をまとめて書きます。「文例」では、表現の特徴や大意については、感想につながることや想像をふくらませたことをくわしく書いています。

《参考にしよう》  
 「学習プリント(読むこと)」4  
 「表現の工夫をとらえる」